

2023年10月23日



「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について ～株式会社 WE トレーディングジャパンのサステナブル経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一郎）は、株式会社 WE トレーディングジャパン（代表取締役 烏 恩）と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後もグループ一体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

記

1. 契約締結日 2023年5月31日（水）
2. 融資金額 100百万円
3. モニタリング期間 3年
4. 資金使途 事業資金
5. PIF 評価書 添付資料をご参照ください。

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

6. 株式会社 WE トレーディングジャパンの概要

代 表 者	烏 恩
本社所在地	名古屋市中区丸の内二丁目 18 番 22 号 三博ビル 1F
業 種	美容品、衛生用品、雑貨等の卸売業
設立年月日	2012 年 10 月 19 日

<記念盾贈呈式の様子>



株式会社名古屋銀行
 執行役員 港エリア長 兼
 港支店長 金森 保憲

株式会社 WE トレーディングジャパン
 代表取締役 烏 恩 氏

※ 贈呈式は 2023 年 6 月に行われ、当時の肩書にて掲載させていただいております。

以 上

ポジティブインパクトファイナンス評価書

～ 株式会社WEトレーディングジャパン ～



2023 年 5 月 31 日
株式会社名古屋銀行
法人営業部 法人コンサルティンググループ

はじめに

株式会社名古屋銀行は、株式会社WEトレーディングジャパンに対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎんPIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、株式会社WEトレーディングジャパンの企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

借入人概要

借入企業	株式会社WEトレーディングジャパン
所在地	名古屋市中区丸の内二丁目 18-22 三博ビル 1 F
従業員	50 名 ※2023 年 6 月末時点
事業内容	美容品（化粧品等）、衛生用品、雑貨、キャンプ用品、食品等の卸売業

融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	100,000,000 円
資金使途	運転資金
融資・モニタリング期間	3 年

目次

1. 企業情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
①会社概要	
②沿革	
③組織図	
④企業理念	
2. 事業内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
①概要	
②各事業詳細	
③品質への取組	
3. その他の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
①PMU商品	
②羽島メタルリサイクルセンター	
③健康宣言チャレンジ	
④SDGs宣言	
4. インパクトの特定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
①インパクトマッピングによるインパクト分布	
②インパクト分布図	
③国内のインパクトニーズ	
5. 測定する KPI・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
・ポジティブインパクトの拡大	
・ネガティブインパクトの縮小	
6. インパクト管理体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
7. モニタリング方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
8. 総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20

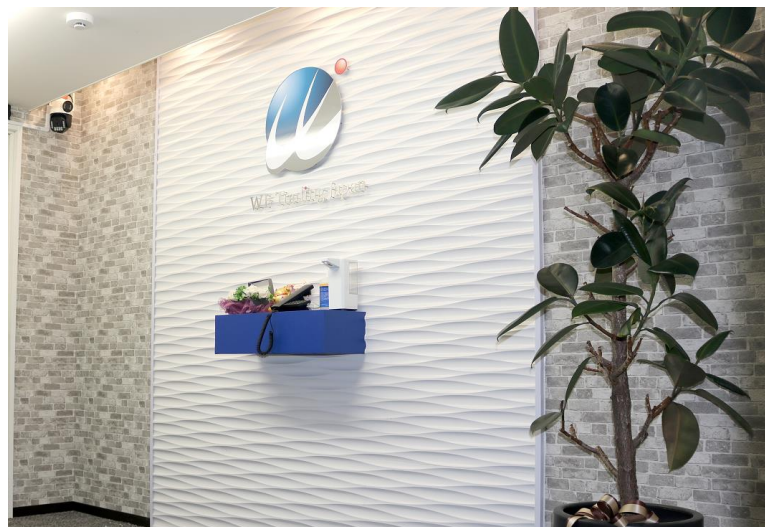
1. 企業概要



WE Trading Japan

① 会社概要

会社名	株式会社WE トレーディングジャパン
設立年月日	2012 年 10 月 19 日
代表取締役	烏 恩 (WU EN)
本店所在地	愛知県名古屋市中区丸の内 2 丁目 18-22 三博ビル 1F
従業員数	50 名 ※2023 年 6 月末時点
決算日	9 月 30 日
資本金	7 百万円
直近売上高	5,135 百万円 (2022 年 9 月期)
事業所	【東京支社】 東京都足立区中川 4 丁目 41-30 東亜ビル 【大阪支社】 大阪府大阪市西区阿波座 1 丁目 3-18 エッグビル本町 3F 【第一物流センター】 愛知県名古屋市港区十一屋 3 丁目 237-2 【羽島メタルリサイクルセンター】 岐阜県羽島市足近町 6 丁目 296 【海外オフィス】 中国福建省営業所／中国深圳営業所

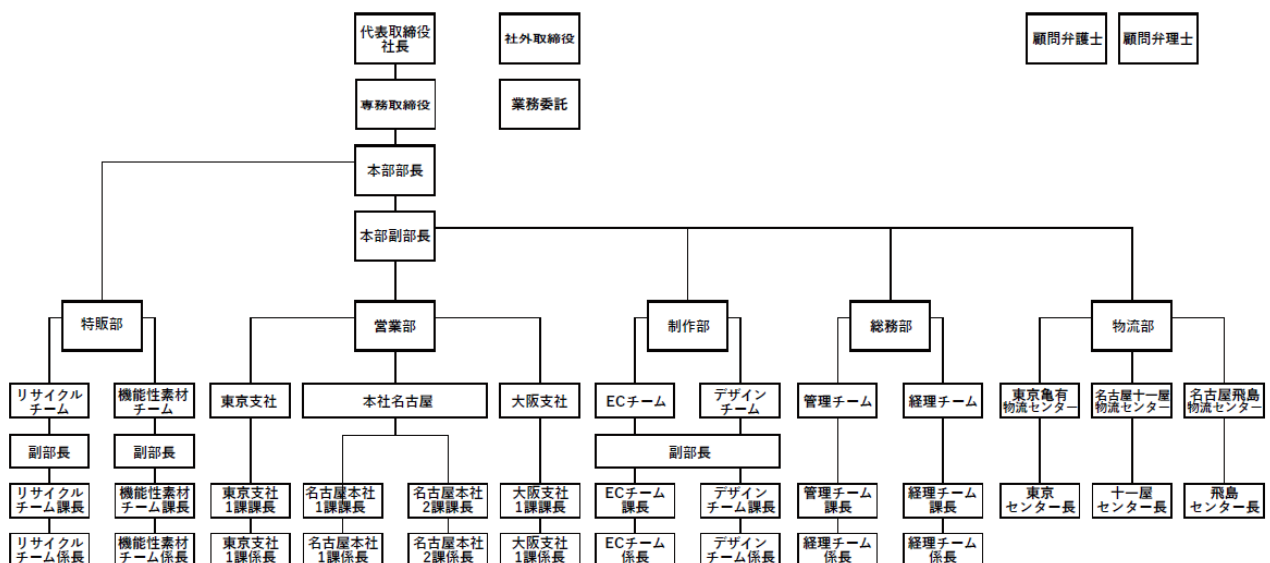


② 沿革

2012 年 10 月	株式会社 WE トレーディングジャパン 設立
2012 年 12 月	モンゴルへ中古車の輸出開始
2012 年 12 月	中国へベビー用品の輸出開始
2014 年 6 月	東南アジアへ日用雑貨の輸出開始
2016 年 8 月	中国と香港へ化粧品の輸出開始
2020 年 1 月	自社商品開発の開始
2020 年 3 月	中国から衛生用品、日用雑貨の輸入開始
2023 年 2 月	羽島メタルリサイクルセンター 開業

③ 組織図

株式会社 WE トレーディングジャパン 組織図



④ 企業理念

企業理念

グローバルな情報と商品で、世の中の役に立つ

今やビジネスに国境はなく、誰もが世界中の人々へ優れたモノ・情報・文化など、どこからでも、あらゆるニーズを満たし、そして手にする事が可能な世界になった。

当社はそのような世界の中で、顧客や社会が抱えるニーズやシーズに着目し、ビジネスの仕組みを構想して、その実現と推進に必要な機能やサービスを安定的に共有することを心掛けてきた。近年においては、社会の価値観は多様化し、人々が求める要求もいろいろな形が出現し、「役に立つ」ことの発見も難しさが増す中で、当社の経験値を活かした新たな「役に立つ」の創出に取り込んでいる。

常に自らを改革し、ビジネスに必要とされる最先端の機能を追い求めてきた結果、健全な財務力と高いリスク管理能力を備えることはもちろん、先見性と行動力、創意工夫を働かせる知恵を持った人材を育て、時代の流れや変化に迅速に対応する企業へと成長を遂げてきた。

ワールド・ワイドなネットワークの構築と情報収集、さらにオープンな企業風土と大手商社にはない新鮮な発想でチャレンジを続けるとともに、常に誠実な対応で今後も顧客の信頼を高め、企業理念を実現していく。

2. 事業内容

① 概要



当社は美容品（化粧品等）、衛生用品、雑貨、キャンプ用品、食品等の卸売業及びODM／OEM事業に従事しており、日本製品の海外輸出並びに海外製品の輸入販売を手掛けている。

「自社が提供する製品の品質を上げたい」「新たな製品を作りたい」「海外取引を進め事業を飛躍したい」「自社の課題を補うパートナー企業が欲しい」等、顧客が抱える様々な課題を解決するための提案を下記3つの当社の強みを活かしながら行っている。

●One Stop Services スピーディな提供

当社には、企画部・調査部・品質管理部・製造管理部・仕入営業部・販売営業部・EC事業部・物流事業部など、専門の担当部署が設置されているとともに、常に連携・情報共有が為されているため、スムーズでスピーディーな対応が可能である。

●Global Network 情報収集能力

日本国内はもちろん、中国や東南アジアなどに、パートナー企業が数社あり、常に市場調査をし情報収集を行っている。それにより、顧客の要望に合った情報提供及び提案を行うことが可能となり、顧客満足度向上に寄与している。

●Wide Range Fields 多分野対応

化粧品や医療用品、食品から電化製品、日用品やペット用品など、多種多様な商品を取り扱っており、これは「今取扱っていないくとも、顧客に相談いただいたのであれば取扱えば良い」という考えのもと商品点数を増加させてきた結果である。また、幅広い分野での豊富な実績により、複合的思考が可能となり、他社では行っていないような取引の方法やリスク回避手段の提案を行うことができる。

② 各事業詳細

(1) 製品の仕入れ卸販売事業



取扱商品を増やしたい企業に対し、国内・海外問わず、顧客の要望に合った条件・価格にて当社のバイヤー、及び各国のパートナー企業の独自ネットワークを駆使して探し出し、提案を行う。

取扱商品としては化粧品、美容関連品、健康食品、一般食品、薬、生活用品、ベビー&マタニティ用品、電化製品、自動車等多岐にわたり、自社オリジナル商品も多く取扱っている。

(2) EC事業



当社は各 EC モールに出店しており、自社ブランド「WE 良品」としての商品展開も行っている。

電子 VAPE「SUEL」を始めとした自社製品から、市場で販売されている既存商品まで、幅広い商品を取り揃えており、当社が独自ルートで仕入れた製品や、OEM/ODM 製造により商品原価を抑えた仕入れにより、顧客がしっかり利益確保できる価格で提供している。

(3) 自社製品開発販売事業



市場の動向を観察し、需要のある製品を自社で開発・販売している。消費者が求める機能や品質を備えた商品をスピーディに企画する事で、その時の需要にベストマッチした製品の提供が可能となる。

また、オリジナルの商品を検討している企業の企画から製造、販売までの一貫支援も行っている。

(4) OEM・ODM事業



「製造を外部へ委託したい」「今よりもコストを抑えて製造したい」「頻出を向上させたい」等の要望に応えるため、技術のある日本国内製造工場や、コストパフォーマンスを重視した海外工場など、顧客のニーズ、商品用途に合わせて企業同士を繋ぐ提案を行っている。

(5) 貿易事業



海外取引を検討している企業、貿易手配や輸出入を外部へ任せたい企業等に対して、当社が創業以来培ってきた貿易業務のノウハウと実績を駆使して、顧客の貿易をサポートする。手配はもちろん、貿易書類の作成や、輸送、保管に至るまでを代行することも可能である。

(6) M&A事業



事業承継、事業拡大、事業強化、事業分割、資本提携、資金調達・・・様々な事業課題に「M&A」という解決方法も提案している。

国内外、地方企業、赤字決算、一事業だけの譲渡等の条件問わず、顧客のパートナーとして相談を請け負う。

③ 品質への取組

【 経営方針 】

当社の最大のサービスは「スピード感」である

【 品質ポリシー 】

絶対的なスピード感を維持しつつお客様から信頼される製品提供

【 品質基本方針 】

当社が定める品質基本方針を元にお客様から求められ続ける
二極化する「スピード」と「信頼性」を両立させる

1) お客様立場主義

お客様目線で必要なものとそうでないものを判断しお客様にとっての品質向上を目指します。

2) 各セクションでマニュアル化

商品開発、製造、物流、問題発生時の対応 などそれぞれのセクションで自社基準や指示系統マニュアルを作成することでスピード感と品質を維持します。

3) 問題ゼロを目指し続ける

製品化前のリスクヘッジだけでなく発売後に発生したお客様の声に対して原因追及と改善を続けることで品質向上を求め、問題ゼロを目指します。

4) 情報の開示

消費者の安心を得るために企業に向けた提出だけでなく当社 HP にて検査データをアップするなど情報の開示をしていきます。

5) 社内教育

社員全員に対して品質管理、知財、法律など商品全般に関する知識の教育を行い、知識を通して社員全員で品質の向上につとめます。

6) 各種法律遵守

各種法律、基準に沿った商品の取扱いをします。

当社は高い「品質」を維持・向上させるために、上記方針に従業員全員が意識する企業文化を醸成している。製品の品質はもちろんのこと、自社の最大の強みは「スピード」というサービス品質にあることを自覚し、強みを磨き上げるために部署間・上司部下間での連携手法や、提案から決済に至るまでのシステム等の社内体制が整備されている。

3. その他の活動

① PMU商品



「グローバルな情報と商品で、世の中の役に立つ」という企業理念の下、創業当初より環境に配慮した素材や製品の普及に取り組み、環境問題の解決に貢献してきた。環境配慮型生分解性素材「PMU」もその取り組みの一つである。

PMUは無機炭酸カルシウム (CaCO_3)、食品グレードポリマー、MU添加剤の3成分を主成分として構成されており、生分解性樹脂を添加し、特殊なプロセスで処理することによって生まれた従来のプラスチックに代わる新しい無機生分解性素材である。

プラスチック素材は加熱工程などを通じて大きなエネルギーが消費され、環境負荷が高くなってしまうのが一般的だが、一方でPMUペレットは製造工程において水を加えたり、排水の排出、排ガスの排出がないため環境負荷が低く、さらに少ないエネルギーで製造できるためコスト面でも他のエコ素材と比べて低い価格での供給が可能である。

また、PMU製品は焼却しても有機マイクロプラスチックの残留物がなく、最終的には自然環境で90%が分解（無機質カルシウム粉末、水、メタン、水酸化炭素）されるため、地球に優しい素材として世界中で注目されている。

当社はPMU開発企業と包括的な契約を結び、2022年より国内代理店として活動を開始した。国内に在庫を保有することで顧客からのサンプル提供依頼や注文に迅速に対応する体制を整えており、さらに、日本と中国のサプライチェーンの強みを活用し、生分解性材料事業において中国で台頭する幅広い生分解性材料メーカーと関係を構築し、技術的課題にも取り組んでいる。

今後とも、PMUのような環境配慮型製品の提案・販売を通して、脱炭素社会の構築とプラスチック問題の解決に貢献していく。

② 羽島メタルリサイクルセンター



地球環境の大切さが周知し、資源の消費抑制が必要不可欠となる中で、限られた地球資源のひとつでありリサイクル率の高い素材である金属のリサイクルに貢献するため、2023年2月23日に羽島リサイクルセンターを開設した。

「集まる金属を未来の星へ再生する」ことをスローガンとして掲げ、銅、電線、真鍮、砲金、ステンレス、アルミ、鉄等の買取・販売を通して、循環型社会の形成に寄与している。

③ 健康宣言チャレンジ



愛知県では、従業員の予防・健康づくりに取り組む企業を認証する制度を設けており、当社も令和3年8月26日に「健康宣言チャレンジ事業所」として登録・認証を受けた。

健康診断受診勧奨の取組や、従業員の感染症予防、従業員間のコミュニケーションの促進施策を実施することを宣言し、健康経営を行うことで、従業員の活力向上や生産性向上などをもたらし、結果的に業績向上や企業としての価値向上へつながっていくことが期待される取り組みである。

④ SDGs宣言



株式会社WEトレーディングジャパン SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの達成に向けた取組みを行っていく事を宣言します。

2021年9月10日
株式会社WEトレーディングジャパン 代表取締役 鳥 恩

✿ — SDGsの達成に向けた取組み — ✿

人権

多様な人材が働ける組織づくりを目指し、働くすべての従業員が描く「幸せ」を実現できる職場環境づくりに努めてまいります。
《具体的な取組み：国籍、年齢、性別等を問わない採用・昇進、ハラスメントのない職場、能力評価による昇進・昇給》

環境

持続可能な地球環境保全に貢献していくために省エネなど環境に配慮した事業活動を心掛け、環境負荷の低減に努めてまいります。
《具体的な取組み：エコキャップ回収の活動、FAXメールの活用、再生紙の積極利用、営業車等のエコカーの積極利用》

社会貢献

地域社会の発展のために、地域への関わりを積極的に持ち、地域社会においても存在感のある会社になれるよう努めてまいります。
《具体的な取組み：地域清掃活動、地域防災活動の積極参加、ユニセフ募金への参加》

品質・サービス

「高品質」「低価格」「スピード」を重視したサービスの提供に努めていくとともに、継続的な向上を図っていくことで、お客様のニーズに応えてまいります。
《具体的な取組み：お客様のニーズを社内共有の徹底、品質・サービス向上のための勉強会実施》







×




当社は「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、達成に向けた具体的な取り組みについての宣言も行っている。職場環境整備や環境に配慮した事業活動、地域社会への貢献、顧客ニーズに対応するための品質・サービスの向上の取組みを掲げており、今般のめいぎんポジティブインパクトファイナンスについても、インパクト分析を踏まえ、SDGs宣言と共通した分野でのKPIも設定する。

3. インパクトの特定

① インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデル（非開示）により株式会社WEトレーディングジャパンの主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。株式会社WEトレーディングジャパンの業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。株式会社WEトレーディングジャパンの事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。川上・川下の事業活動については株式会社WEトレーディングジャパンが直接関与できないため次の事項を検討する。

ポジティブ面では川上・川下の事業でポジティブな影響の促進やネガティブな影響の緩和に株式会社WEトレーディングジャパンの事業が貢献できることがないか検討する。

ネガティブ面では川上・川下の事業において重要な影響があるか影響が及ぶ地域での対応のニーズが強いカテゴリについて、取引関係の管理などを通じて緩和に貢献できるか検討する。

分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。

② インパクト分布図

●川上事業

インパクトカテゴリ	川上の事業													
	【 中分類10 】		【 中分類11 】		【 2023 】		【 2640 】		【 3290 】		【 4630 】		【 4649 】	
	食料品製造業		飲料製造業		石けん、洗剤、クリーニング・つや出し剤、香水及び化粧品類製造業		家庭用電子機器製造業		他に分類されないその他の製造業		食料品、飲料及びたばこ卸売業		その他の家庭用品卸売業	
	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ
水（入手）				★★										
食料	★★										★			
住居							★							
健康・衛生	★	★★	★	★★	★		★					★	★	
教育														
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー														
移動手段														
情報														
文化・伝統	★		★											
人格と人の安全保障														
正義														
強固な制度・平和・安定														
水（質）		★		★		★		★		★		★		★
大気						★		★		★		★		★
土壌								★		★				
生物多様性と生態系サービス												★		★
資源効率・安全性		★		★		★		★		★				
気候		★		★		★		★		★		★		★
廃棄物		★★		★★		★		★		★		★		★
包摂的で健全な経済	★		★		★		★		★					
経済収束														

同社の仕入先としては食品・飲料メーカー全般、化粧品メーカー、家電製品メーカーなどを中心とした製造業と、それら商材を取扱う卸売業者が該当し、ポジティブインパクト（P I）としては、『食料』『住居』『健康・衛生』『文化・伝統』『包摂的で健全な経済』が認められる。

当社の最大の強みである「スピード」とワールドワイドな「流通網」は、上記P I 促進を加速させるとともに、インパクト範囲拡大へ貢献していると考えられ、今後とも引き続き強化を図っていく方針である。

一方、ネガティブインパクト（N I）については『水（入手）』『健康・衛生』『雇用』『水（質）』『大気』『土壌』『生物多様性と生態系サービス』『資源効率・安全性』『気候』『廃棄物』が確認された。同社としては、輸送の際に発生する有害物質を原因とした環境面を中心としたカテゴリに対して、輸送回数が低減されるよう輸出入計画を厳格に管理し、輸送コストが低減されるようなK P I 設定によりN I 縮小に寄与していく。

●同社事業

インパクトカテゴリ	同社事業							
	【 4630 】		【 4649 】		【 4669 】		【 4791 】	
	食料品、飲料及びたばこ卸売業		その他の家庭用品卸売業		廃棄物・スクラップ及び他に分類されないその他の製品の卸売業		通信販売またはインターネットによる小売業	
	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ
水（入手）								
食料	★							
住居								
健康・衛生		★	★		★			
教育								
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー								
移動手段								
情報								
文化・伝統								
人格と人の安全保障								
正義								
強固な制度・平和・安定								
水（質）		★		★		★		
大気		★		★		★		
土壌								
生物多様性と生態系サービス		★		★		★		
資源効率・安全性					★			
気候		★		★	★	★		
廃棄物		★		★	★	★		★
包摂的で健全な経済							★	★
経済収束					★			★

同社は主に美容品（化粧品等）、衛生用品、雑貨、キャンプ用品、食品、家電製品等、一般顧客向けの商材を中心とした卸売業に従事しており、P Iとしては、『食料』『健康・衛生』『雇用』『資源効率・安全性』『気候』『廃棄物』『包摂的で健全な経済』『経済収束』が確認された。

食料や生活必需品、家電製品、娯楽グッズに至るまで、様々な側面で人々の生活を支えている商材を、広範囲かつ素早く調達を行う当社事業は『食料』『健康・衛生』への寄与が認められ、自社にて一般顧客向けのEC販売を行う小売分野においては『包摂的で健全な経済』への寄与が認められる。

また、当社のコネクションを活かして開始した「羽島リサイクルセンター」の事業は、資源の再活用を行うことで材料の過度な抽出の抑制と廃棄物の低減に繋がるため『資源効率・安全性』『気候』『廃棄物』のP I拡大に貢献していると考えられる。

さらに、サービス品質向上させるためのO J Tを中心とした人材育成と、事業拡大に伴うグローバルかつ平等は人材雇用施策は、雇用面におけるP Iが確認できる。

一方、N Iについては『健康・衛生』『雇用』『水（質）』『大気』『生物多様性と生態系サービス』『気候』『廃棄物』『包摂的で健全な経済』『経済収束』が確認された。

たばこやアルコール、健康を害する食品の取扱いに起因する『健康・衛生』のN Iに対しては、電子VAPE「SUEL」（ニコチンゼロ、タールゼロ、有害成分ゼロの電子タバコ）等、健康に配慮した商品の開発・販売を進めていくことで縮小を図る。

また、訪問営業や輸送の際に発生する有害物質を原因とした『水（質）』『大気』『生物多様性と生態系サービス』『気候』の環境面におけるカテゴリに対しては、先述の通り、輸送回数が低減されるよう輸出入計画を厳格に管理し、輸送コストが低減されるようなK P I 設定することに加え、社用車をエコカーへ切り替えるK P I 設定によりC O 2 排出量を低減し、N I 縮小を図っていく方針である。

●川下事業

インパクトカテゴリ	川下の事業													
	【 4630 】		【 4649 】		【 4669 】		【 4711 】		【 4719 】		【 4759 】		【 4772 】	
	食料品、飲料及びたばこ卸売業		その他の家庭用品卸売業		廃棄物・スクラップ及び他に分類されないその他の製品の卸売業		食料品、飲料またはたばこが主な非専門店小売業		その他の非専門店小売業		専門店による家庭用電気製品、家具、照明器具及びその他の家庭用品小売業		専門店による医薬品、医療品及び化粧品・洗面用品小売業	
	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ	Positive ポジティブ	Negative ネガティブ
水（入手）														
食料	★						★							
住居											★			
健康・衛生		★	★		★			★					★★	
教育														
雇用	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
エネルギー														
移動手段														
情報														
文化・伝統														
人格と人の安全保障														
正義														
強固な制度・平和・安定														
水（質）		★		★		★								
大気		★		★		★								
土壌														
生物多様性と生態系サービス		★		★		★								
資源効率・安全性					★									
気候		★		★	★	★								
廃棄物		★		★	★	★						★		★
包摂的で健全な経済							★		★		★		★	
経済収束					★									

川下企業としては、当社と同様の卸売を行う事業者に加えて、各商材の小売業者が該当しており、P I として『食料』『住居』『健康・衛生』『雇用』『資源効率・安全性』『気候』『廃棄物』『包摂的で健全な経済』『経済収束』が確認され、N I として『健康・衛生』『雇用』『水（質）』『大気』『生物多様性と生態系サービス』『気候』『廃棄物』が確認された。

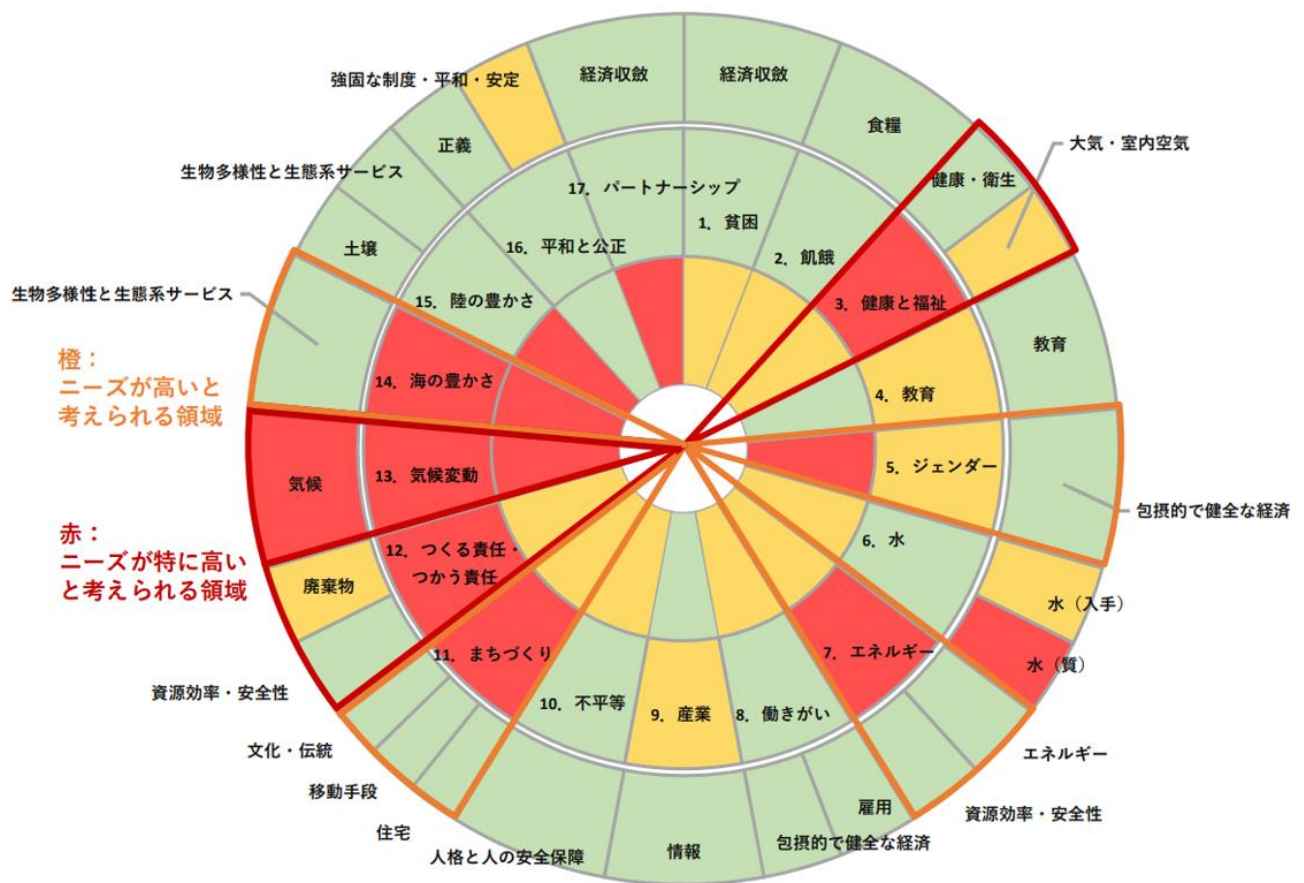
当社の取扱商材の幅広さは顧客にとってはワンストップでの流通を可能にし、当社強みである迅速な対応スピードが合わさることで、小売業者の機会損失の防止ならびに販売数量の増加に繋がっており、P I 拡大への寄与が認められる。

N I 縮小に対しては、当社努力により関与が難しい分野であるが、『廃棄物』のカテゴリについては環境配慮型商材であるPMUの提案・販売量増加を進めていくことで貢献を図る。

③ 国内のインパクトニーズ

環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」における国内のインパクトニーズは下記の図によって表される。特に取り組むべき SDGs を赤色、取り組むべきであるが不十分な SDGs を黄色、その他を緑色としているものである。

次ページの「5. 測定する KPI」において名古屋銀行が特定した株式会社WEトレーディングジャパンのインパクトと対応する SDGs のゴール「9, 11, 12, 13, 14」について、赤色もしくは黄色のゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズと整合的である。



4. 測定するKPI

① 品質向上とPMU商品取扱いによる事業拡大

項目	内容
インパクトの種類	経済面でポジティブインパクトを拡大、環境面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「資源効率・安全性」「廃棄物」「包摂的で健全な経済」
関連するSDGs	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任
対応方針	サービススピードの向上による取扱量増加、環境配慮型商品の取扱い強化
KPI	・2026年度までに従業員一人当たり売上高を2023年度対比10%増加させる（実績報告） ・2026年度までにPMU商品の売上高100百万円を達成する（実績報告）

② 雇用の創出

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連するSDGs	8 働きがいも 経済成長も
対応方針	国籍や性別に左右されない平等かつ公平な人材雇用
KPI	・毎年3名以上の新規採用を行う（実績報告）

③ 移動・輸送手段に対する取組

項目	内容
インパクトの種類	環境面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「気候」「生物多様性と生態系サービス」
関連するSDGs	 
対応方針	輸出入計画の厳格な管理による船舶輸送回数低減、エコカー利用の促進
KPI	・船舶輸送回数を2023年度対比毎年5%ずつ低減させる（実績報告） ・2026年度までに社用車の半分以上を電気自動車またはハイブリッドカーへ切り替える（実績報告）

5. インパクトの管理体制

株式会社WEトレーディングジャパンは代表者を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策を各事業部及び本部が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎん PIF におけるインパクトについては、代表者が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

インパクト管理者

最高責任者	代表取締役 烏 恩
-------	-----------

6. モニタリング方法

株式会社WEトレーディングジャパンに対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者（法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者）により年 1 回以上の協議を通して実施する。年 1 回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定した KPI の達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証し KPI の修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPI の追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

7. 総括

株式会社WEトレーディングジャパンの事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。株式会社WEトレーディングジャパンが KPI 達成を目指すことで社内、地域社会への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ESG及びSDGsの観点からも十分な適合性を確認した。